

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 県立社会福祉施設設備等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111 (内3494)

E-mail : c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 171,984千円 (前年度予算額： 60,516千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	60,516	0	0	0	0	0	0	43,000	17,516
要求額	171,984	0	0	0	0	0	0	141,400	30,584
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

老朽化が進む県立障がい福祉施設及び県立障がい者スポーツ施設の營繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

(2) 事業内容

県立社会福祉施設及び県立障がい者スポーツ施設の營繕工事（実施設計及び改修工事）を実施し、施設利用者の安全性と利便性の向上を図る。

【長寿命化計画改修工事】

○みどり荘管理棟等便所及び配管改修工事 79,375千円

- ・令和2年度から継続要求中。R2に実施設計済。
- ・施設建築から44年を経過し老朽化が著しいため改修する。
- ・UD（便所の洋式化）化工事も同時に行う。（UD予算にて要求）

○陽光園照明器具改修工事 33,503千円

- ・令和元年度から継続要求中。R1に実施設計済。
- ・施設建築から49年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○幸報苑熱源交換工事 18,344千円

- ・令和7年度から継続要求中。
- ・前回更新から16年を経過し、中長期計画上の更新時期となるため更新する。

○陽光園外壁改修工事 9,906千円※R8は設計のみ

- ・R7年度から継続要求中
- ・前回改修から16年が経過し、改修サイクルを迎えたため、改修をする。

- サニーヒルズみずなみ給排水設備等改修工事 5,269千円※R8は設計のみ
 - ・R7年度から継続要求中
 - ・設置から36年が経過し、改修サイクルを迎えたため、改修をする。
- みどり荘LED照明改修工事 1,837千円※R8は設計のみ
 - ・R5年度から継続要求中
 - ・施設建築から44年を経過し老朽化が著しいため改修をする。
- はなの木苑空調設備改修工事 5,636千円※R8は設計のみ
 - ・R7年度から継続要求中
 - ・設置から25年が経過し、改修サイクルを迎えたため改修する。
- 三光園照明設備改修工事 4,382千円※R8は設計のみ
 - ・R8当初新規工事
 - ・施設建築から44年を経過し老朽化が著しいため改修する。

【長寿命化計画外（劣化改修）工事】※管財課の庁舎営繕予算で対応不可のもの。

- 三光園給湯用無圧ヒーター更新工事 12,331千円
 - ・設置から44年が経過し、劣化が著しいため改修する。
- 福祉友愛プール1階女子トイレ扉改修工事 1,401千円
 - ・利用者の利便性向上のため、個室扉を引き戸から折れ戸に改修する。

（3）県負担・補助率の考え方

県補助率10／10（予定施設は全て県立施設であるため、県負担は妥当）

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	151	改修工事現場への出張旅費
使用料	67	出張に係る高速代
需用費	779	消耗品費478千円・燃料費301千円
役務費	369	郵送費・通信費
委託料	33,621	改修工事の設計委託料・工事監理委託料
工事請負費	136,997	改修工事の請負費
合計	171,984	

決定額の考え方

--

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な營繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	終期目標	達成率
① 実施が必要な大規模營繕工事の年度実施件数	-	6	2	1		
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・陽光園屋上防水改修工事・ガスボイラーアップグレード工事 ・三光園空調設備改修工事 ・ひまわりの丘第一学園・第二学園（機械等屋上外壁改修・空調設備改修） ・はなの木苑居室棟屋上防水改修
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・はなの木苑自動火災報知設備等改修工事の設計 ・みどり荘自動火災報知設備等改修工事の設計
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・はなの木苑自動火災報知設備等改修工事

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	施設利用者の安心・安全な生活環境を確保するため、営繕工事の実施が必要となる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	これまでの営繕工事により、施設利用者の安全・安心な生活環境の実現が図られた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	営繕工事の実施検討にあたっては、府内関係課と現地調査を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県立障がい福祉施設は多くの施設で老朽化が進んでおり、今後も新たな営繕工事が必要となる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
必要な営繕工事について、計画的な実施を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	